

委員会活動報告

「見たこと・聞いたこと、そして考えたこと」

総務常任委員会 令和8年5月19日(火)陸上自衛隊
大宮駐屯地(埼玉県さいたま市北区)

視察事項 災害時における陸上自衛隊の支援体制

陸上自衛隊が派遣されるまでの流れ、当市に想定される災害と支援の内容、自治体に推奨される災害への備え等について説明を受けた。陸上自衛隊によるさまざまな支援の内容を理解した一方で、災害発生時における一次対応の主体はあくまでも市であることを再認識した。広域的な災害の場合、県や陸上自衛隊等の支援を受けられるまでに時間を要する可能性が高く、それまでの間、自力で持ちこたえることが重要である。防災備蓄品の常備や自主防災組織の育成等、市自らによる災害への備えを万全にしておく必要がある。



文教厚生常任委員会 令和8年5月26日(火)
埼玉県日高市立高麗小中学校

視察事項 地域とともにある義務教育学校

少子化及び教育課題の解決のため、「コミュニティ・スクールを基盤とした小中一貫教育」を導入した経緯と主な取組について説明を受けた。小中学校の再編について、日高市は、「子どもたちを第一に」という視点を軸に時間をかけて準備を進めた。各地域の文化や特性を尊重したうえで、義務教育学校又は小中一貫校の設置を決定し、地域の力を学校づくりに生かした。地域のかたが利用できる「K O M A 活(こまかつ)ルーム」を校内に設置する等、地域が一体となった学校教育を実践している。本市の学校再編においても丁寧に議論していく必要がある。



産業建設常任委員会 令和8年5月21日(木) 埼玉県農業技術研究センター(埼玉県熊谷市)

視察事項 埼玉県内の先進農業～イチゴの品種育成～

埼玉県内の先進農業のうち、イチゴの品種育成及び栽培関連技術の開発・普及の取組について説明を受けた。高品質なイチゴ品種の開発には、長期にわたる研究と継続的な取組が必要であり、そうした研究と取組により、「かおりん」「あまりん」「べにたま」が開発された。広範に流通している品種の栽培において、現状では他県産品に対して優位になることが難しいため、埼玉県育成品種の導入による高付加価値化・収益化について、生産者への積極的な情報提供が必要である。



組合議会報告

組合議会とは、一部事務組合に設置された議会で、複数の地方公共団体が共同で行う事務について審議します。

蓮田白岡衛生組合議会

令和7年中は、定例会が4回開催され、人事案件1件、条例7件、予算4件、決算認定1件を審議し、いずれも原案のとおり同意、可決、認定した。

令和7年度の組合で受け入れたごみの総量は、28,806トン(うち資源物の収集量は3,426トン)。その後、中間処理を経て、資源化量は7,245トン(受け入れたごみの総量に対するリサイクル率は25.1%)、最終処分場埋め立て量は718トンであった。

埼玉斎場組合議会

令和7年中は、定例会が2回開催され、人事案件2件、条例7件、予算3件、決算認定1件、議員提出議案の条例2件を審議し、いずれも原案のとおり同意、可決、認定した。

令和7年度の組合内の火葬実績は、合計で4,503体(大人4,435体、子ども5体、死胎等63体)で、うち白岡市は大人535体、子ども2体、死胎等5体。組合外の火葬実績は総数で569体。小動物合同葬実績は、組合内906頭、組合外70頭。小動物単独葬実績は、組合内802頭であった。

埼玉東部消防組合議会

令和7年中は、定例会が2回、臨時会が2回開催され、人事案件4件、条例5件、予算4件、財産取得3件、工事請負変更契約の締結1件、損害賠償の額を定めること1件、決算認定1件、議員提出議案の条例1件を審議し、いずれも原案のとおり同意、可決、認定した。

令和7年中の組合内の火災は216件で、うち白岡市は建物6件、車両3件、その他9件。救急出動は、組合管外を含めて26,086件で、うち白岡市は2,868件。搬送人員は、組合管外を含めて23,174人で、うち白岡市は2,610人。救助出動は、組合管外を含めて552件で、うち白岡市は42件であった(件数・人数は速報値)。